

貸金業者の現状と動向が明らかに

～貸金業者に対するアンケート調査結果を公表～

日本貸金業協会は、3月31日、貸金業者に対するアンケート調査結果「貸金業者の経営実態等に関する調査結果報告」を公表した。

貸金業者が担う資金供給機能が適時かつ円滑に発揮されているか等を検証するため、貸金業者の経営実態等について調査したもので、2019年12月2日から本年1月14日にかけて、すべての貸金業者を対象に行い、前回調査比4.7ポイント増の57.8%にあたる959社から有効回答を得た。

総評として、「貸金業者全体の貸出しは緩やかな増加傾向にあるものの、貸金業者の業態や事業規模によって、収益性や利幅の減少、集客力の低下といった様々な問題や課題を抱えて」とし、「経済・社会環境の変化に対応した持続可能なビジネスモデルへの転換が求められている。」と指摘した。

調査結果の全編(135頁)は、協会ウェブサイトで公表されている。

〈調査目次〉

第1編 調査概要

第2編 調査結果(経年比較分析から)

1. 貸金市場の変遷と構造的変化
2. 貸金業者の実像と動態
3. 貸金業者における消費者向貸付の現状と動向
4. 貸金業者における事業者向貸付の現状と動向

第3編 調査結果(今年度の詳細データ分析から)

1. 貸金市場の現状
2. 貸金業者の実像と動態
3. 貸金業者の収益構造
4. 貸金業者の課題と取組み
5. 貸金業者の今後の見通し

〈調査概要〉

調査方法

郵送及び電子メールによる調査

調査票発送数

貸金業者 1,660 業者
(協会員 1,070 業者、非協会員 590 業者)

有効回答数

貸金業者 959 業者
(協会員 775 業者、非協会員 184 業者)

有効回答率(有効回答数/発送数)

57.8%(前年比 4.7ポイント増)
・協会員 72.4%(前年比 4.3ポイント増)
・非協会員 31.2%(前年比 3.4ポイント増)

「貸金業者の経営実態等に関する調査結果報告」は → [こちら](#) (協会ウェブサイト)